



定時制課程 3年 コミュニケーション英語Ⅱ「スキット・プレゼン発表」

- **本時の目標**：前時までに作成・練習したスキット（寸劇）とプレゼンテーションを、聞き手に伝わるように発表する。
- **タブレットを活用するねらい**：ラーニングスタイルに合わせた学習活動を設定し、十分な準備の上での発表につなげる。

本時の流れ

	学習場面の概要	タブレット等ICT機器の活用のポイント
導入	相互評価の評価規準について説明を受ける。	
展開	スキットの発表を見て ①声が聞きとれたか、 ②台本を見ずに言えていたかを評価する。	 <p>C1:スキットの発表</p> <p>「竹ノ塚駅で外国人に道を尋ねられる」という寸劇の設定を活かし、発表時に竹ノ塚駅の写真を背景として投影する。</p>
	プレゼンの発表を見て ①声が聞き取れたか、 ②発表者と目が合ったかを評価する。	 <p>C1:調べた語のプレゼンテーション</p> <p>生徒自身が作成した資料を投影して、グループの学習成果を発表する。</p>
まとめ	全体への講評を聞き、共通する良かった点や課題点を理解する。	

■生徒の変容

タブレット等ICT機器は準備段階で大いに活用された。普段は音読練習に委縮しがちな生徒も、マイクに向かってなら堂々と声を出して練習し、その結果、本番も恥ずかしがらずに発表できた。



B4:音読の練習を録音してサーバに保存する。



B2:調べた英単語の画像を探す。

C3:分担して発表スライドを作る。